



SUNSHINE
紹介ムービー公開中!

本資料は、「教科書発行者行動規範」に則っており、配布を許可されているものです。

令和3年度用 中学校英語教科書

内容解説資料

教授用資料

別冊

2

これならできる!

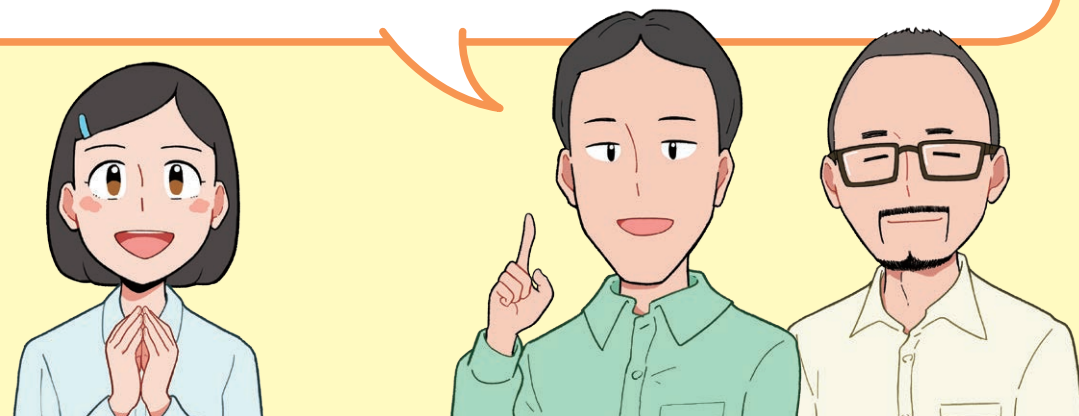
リテリング 指導

Retell,
Interact 編

Retellを使うと、教科書本文の内容について、
自分が言いたい(自分が言える)ことを、自分なりのことばで
相手に伝える活動を授業に自然に取り入れることができます。

絵やキーワードをもとに伝え合う活動を続けるうちに、
「話すこと(やり取り)」の力が少しずつ、着実に身についていきます。

教科書本文の内容理解の授業の出口として継続的にRetellを行うことで、
学期末、学年末のOur Projectで、
クラスメートの顔を見ながら生き生きと話す生徒が育っていきますよ!



開隆堂出版株式会社

<http://www.kairyudo.co.jp/>

令和3教 内容解説資料

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1
北海道支社 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西6-11 札幌北辰ビル8階
東北支社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階
名古屋支社 〒464-0802 愛知県名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6階
大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16
九州支社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階

TEL 03-5684-6111
TEL 011-231-0403
TEL 022-742-1213
TEL 052-789-1741
TEL 06-6531-5782
TEL 092-733-0174



開隆堂

リテリングのすすめ

リテリング（再話）は「英文に目を通したあとに、原稿を見ないで、その内容を知らない人に伝える活動」です。

帰宅後に、その日、学校であったことを家族に伝えるなど、実は日常生活の中でよく行っている活動です。

「相手にわかりやすく伝えよう」とすることで、頭の中で英文内容が整理され、自分自身も内容理解が深まります。

まず、本文の一場面を思い出して、頭の中に描いてみましょう。

それをことばにすることができれば、立派なリテリングです。

最初の段階では、日本語で内容を伝えることから始めても構いません。ただし、日本語でリテリング、そして次に英語でリテリングという手順を踏むときは、最初の日本語でのリテリングの英訳にならないように気をつけましょう。

いちばん大事なのは、「相手にわかりやすく伝えよう」という思いです。英文を暗記する必要はありませんし、むしろ、1文でも多く頭の中に入れて、そのまま正確に言おうとする活動はMemorizationに終わってしまいます。

これではわかりやすく伝わりませんし、自分の頭の中でも内容が整理整頓されず、理解は深まりません。

全員のリテリングが同じ内容になる必要はありません。

自分の頭に残っている場面、いちばん伝えたいところを相手に伝えさせましょう。

本文の絵や写真を使って、ときには身振り手振りを交えながら、少しでもやさしい英語で、相手の理解を確かめながら、効果的に間を置いて、語るスピードを変えながら、自分のことばでリテリングするとき、コミュニケーション能力が高まっていくことがつくでしょう。

次のページから
具体的に解説します

うしろ ゆうし
卯城 祐司 先生

北海道の公立高等学校3校、北海道教育大学釧路校を経て、現在は筑波大学人文社会系教授。博士（言語学）。専門は英語教授法全般、リーディングおよび第二言語習得。全国英語教育学会会長、小学校英語教育学会会長、関東甲信越英語教育学会会長などを歴任。文部科学省「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」、「外国語能力の向上に関する検討会」委員などの要職を務める。



これならできる！ 段階別 Retell

SUNSHINE では、1～3年生の習熟度に応じて Retell を 3つの段階に分けています。

POINT!

「自分が言える内容を選んで話す」活動で、
だれもが無理なく
取り組める

本文を
自分のことばで
表現する力が身につく

友だちの発表から
新しい気づき生まれ、
協働学習につながる

1st Stage

1年 PROGRAM 9

Retell PROGRAM 9

- 本文を通してもう一度音読し、内容を確認しましょう。
- 語句や写真、絵を参考にして、美希になったつもりで本文の内容を日本語で言います。
- 相手を変えて、美希になったつもりで本文の内容を英語で伝えましょう。

例 1: I visited Finland with my family.

- visited
- watched
- relaxed
- invented

Finland aurora sauna

例 2: I ate a salmiakki candy.

- ate
- found

supermarket

例 3: I saw a reindeer on the road.

- saw
- rise
- set

visited watched

Goal 2 one hundred nine 109

▲ 1年 PROGRAM 9

左側に示された動詞と右側の写真や絵、語句を組み合わせ、登場人物になりきって、本文を表現します。



2nd Stage

2年 PROGRAM 1 ~ 3年 PROGRAM 3

Retell PROGRAM 2

- 本文を通してもう一度音読し、内容を確認しましょう。
- 写真や絵、語句の中から話せそうなものを選び、本文の内容をペアで相手に伝えましょう。付け加えたい語句があれば、◆の右にメモしましょう。

go hiking

- Saturday
- Tom's uncle
- guide

pictures footprints

the hiking rules

beavers build dams and lodges

one of Canada's national animals

3 相手を変えて、本文の内容を伝えましょう。相手が使ったよい表現はどんどん取り入れましょう。

Goal 2 sixty-nine 69

▲ 2年 PROGRAM 2

写真や絵、語句をヒントにして本文を表現します。2nd Stageの後半では、示している語句の数を減らし、3rd Stageへのステップアップを図っています。

go hiking

- Saturday
- Tom's uncle
- guide

3rd Stage

3年 PROGRAM 4 ~ 7

Retell PROGRAM 5

- 本文を通してもう一度音読し、内容を確認しましょう。
- 本文の内容を整理してメモしましょう。写真や図、KEYの語句も参考にしてペアの相手に伝えましょう。

KEY The original chocolate

- 昔の形状と味
- 値段や食べていた人
- その他

Chocolate in the world

- ヨーロッパへの伝来
- 固形チョコレートの誕生
- チョコレートの普及
- その他

Dark side of chocolate

- カカオ農場で働く人
- フェアトレード
- その他

3 相手を変えて、本文の内容を伝えましょう。相手が使ったよい表現はどんどん取り入れましょう。

Goal 2 sixty-nine 69

▲ 3年 PROGRAM 5

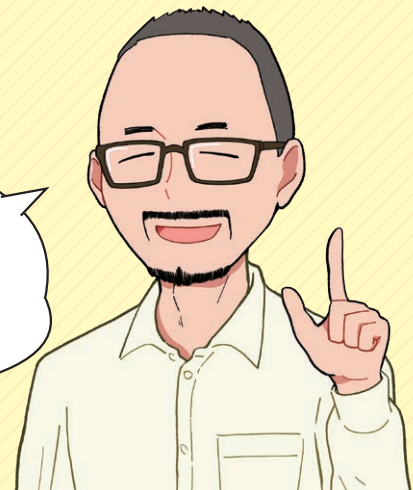
KEY The original chocolate

情報を自分で整理して、本文を表現します。

- ヨーロッパへの伝来
- 固形チョコレートの誕生
- チョコレートの普及

どこが本文の重要部分かがわかりやすいよう、日本語でポイントを示しています。

Retell でまとまった英文を短時間で読む活動は、制限時間内で **300~400語程度の長文を読む** 高校入試の対策にもなりますよ。



STEP UP!!



なるほど～、
やさしい活動から始めて、
3年ではだいぶ
話せるようになるんですね！

- Saturday
- Tom's uncle
- guide

そのとおりです。
それに全ての本文を表現させるのではなく、
自分が言える内容にしばって話す 活動なので、
生徒自身のペースやレベルに合わせることが可能です。

でも、実際にはどうやって
指導したらよいんでしょう？

お任せを。

強力な助っ人を
呼んであります！

お待たせしました！

はじめまして。
田村 岳充と申します。

たか みつ
田村 岳充先生

宇都宮大学教職大学院助教。宇都宮市内の公立中学校で7年間勤務した後、2001年度から在外教育施設派遣（フィリピン・マニラ日本人学校）を経て、2009年度から2017年度まで宇都宮大学教育学部附属中学校に勤務。2017・2018年度NHKラジオ「基礎英語2」、2019・2020年度「基礎英語1」講師を務める。

では、新SUNSHINEの
Retellを使った授業案と
解説をお見せしましょう！

解説ムービー

リテリング活動を
スムーズに行うためのコツ



動画では、
リテリング活動の実践法を
わかりやすく解説しています。
ぜひ参考にしてみてください！

Retell 授業案例

時間

学習内容・学習活動

5分

あいさつ、導入

10分

① 本文を音読する。

- Retellのページに載っている語句を確認する。
- ペアと一緒に本文の音読練習をさせる。
- Retellのページに載っている写真や絵を提示し、それについて質問をする。
(質問の答えをつなぎ合わせると、Retellの発表になるようにする。)

30分

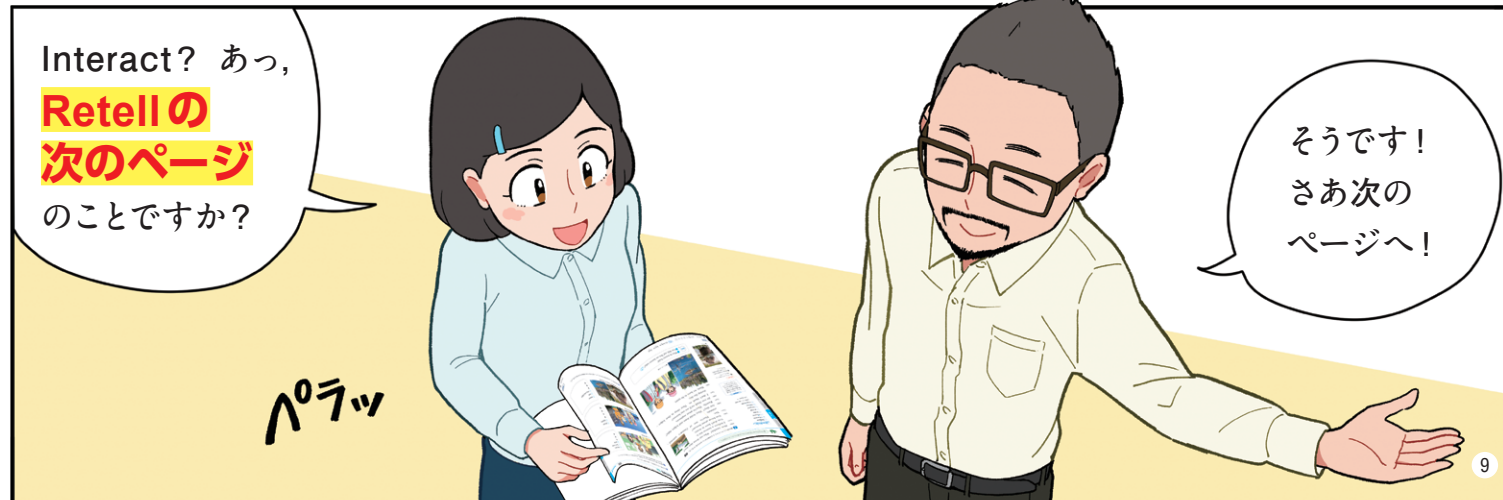
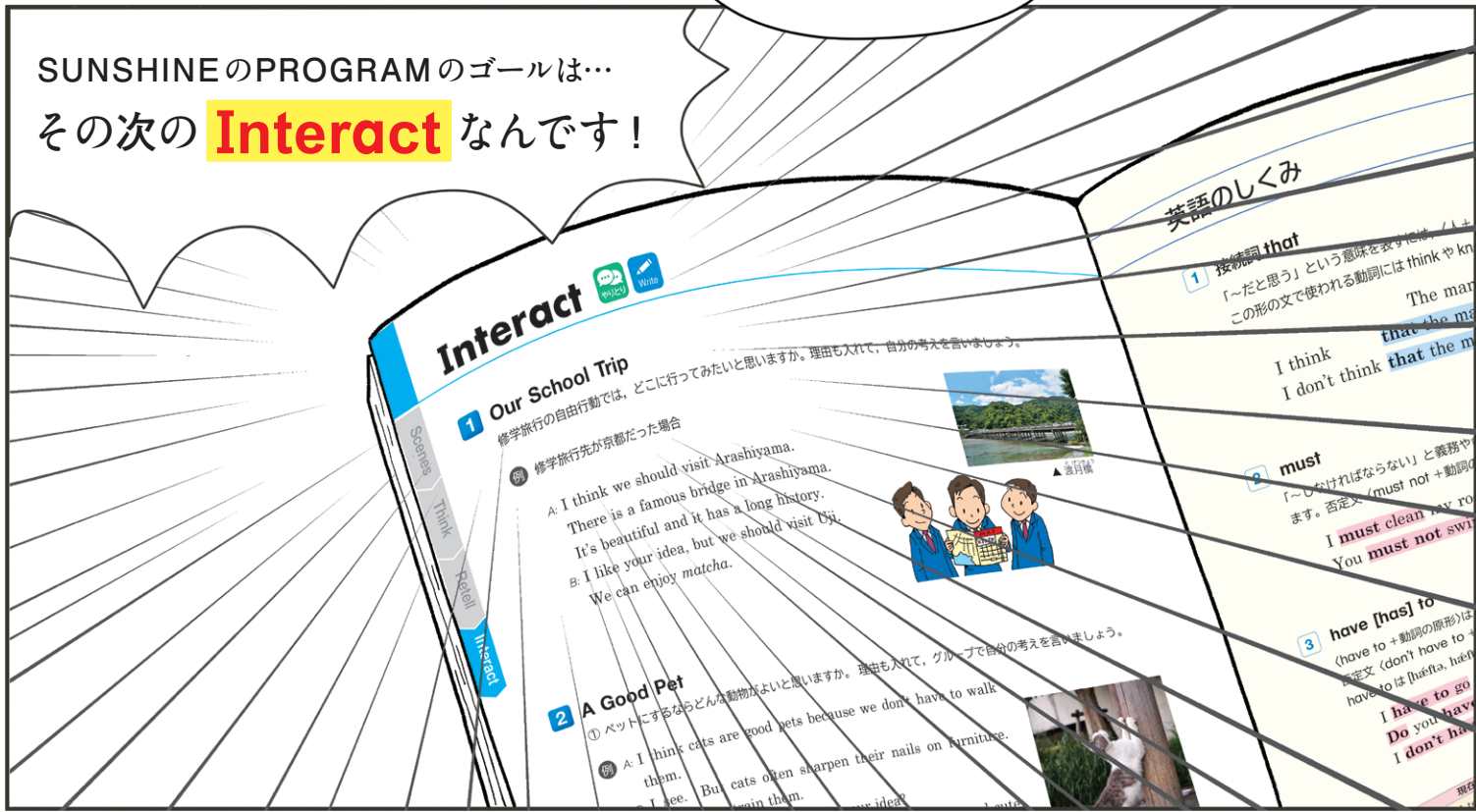
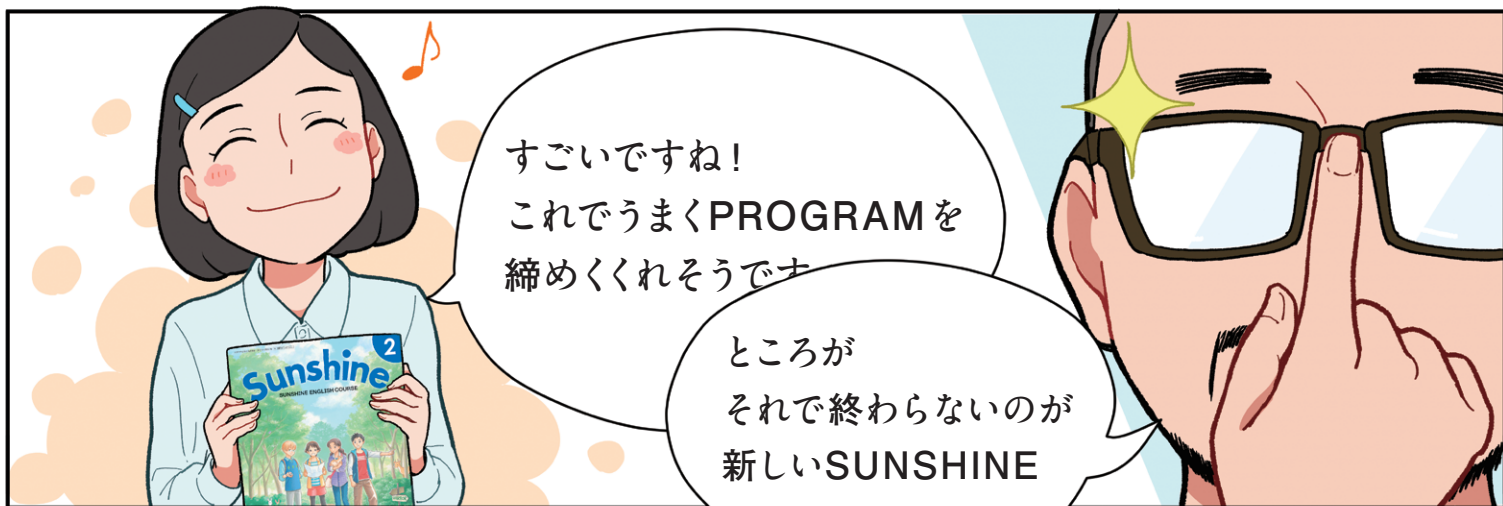
② Retellの練習と発表をする。

- 写真や絵、語句の中から話せそうなものを選び、ペアで確認させる。
- 5分間ペアと一緒に練習させる。
(上記2つの活動をセクション数分くり返す。)
- 3名1組となり、セクションごとに分担してクラスで発表させる。

5分

③ 活動の振り返りをする。

- 発問や音読、ワークシートの記述結果などで本時のねらいの達成度を確認する。
- 家庭学習でやるべきことを確認する(自分が話した文をノートに書かせるなど)。



指導書ワークシート (サンプル)

※制作中のため仕様は変更になる可能性があります。

go hiking Saturday Tom's uncle
guide

New Words

believe ()	lodge ()
beaver(s) ()	exactly ()
national ()	engineer ()
build ()	we'll ← we will
dam ()	cut down~ ()

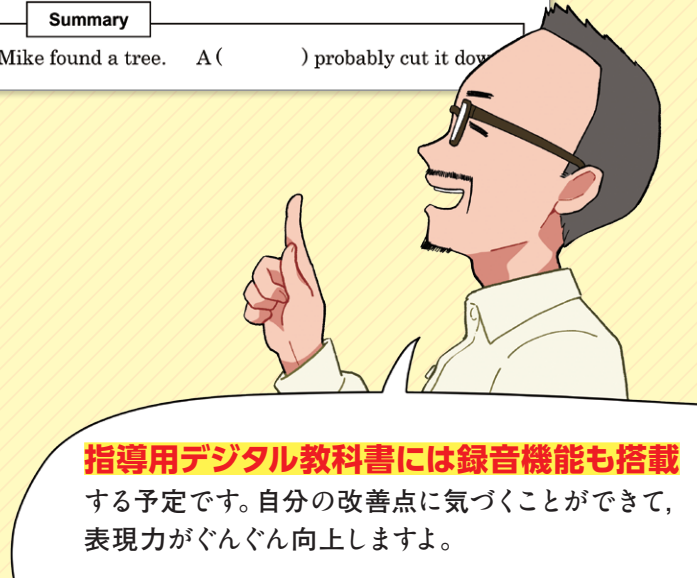
Q & A

① What can beavers build?

② Can Miki and Tom see beavers today?

Summary

Mike found a tree. A () probably cut it down.



PROGRAMの出口 自己表現のInteract

Interactは、その課で学んだ言語材料を使う自然な場面や話題を設定し、即興でやり取りをさせる活動です。

POINT!

言語材料を自然に使いながら
即興で
自己表現ができる

理由も含めて自分の考えを伝えることで、
論理的思考が
身につく

最後に「書く」活動を設定することで
判断力と正確性も
身につく

Interact



全国学力テストや入試で導入され始めている
スピーキングテストにも自信を持って臨めます。



1 Our School Trip

修学旅行の自由行動では、どこに行きたいと思いますか。理由も入れて、自分の考えを言きましょう。

例 修学旅行先が京都だった場合

A: I think we should visit Arashiyama.
There is a famous bridge in Arashiyama.
It's beautiful and it has a long history.
B: I like your idea, but we should visit Uji.
We can enjoy *matcha*.



▲ 波月橋



2 A Good Pet

① ペットにするならどんな動物がよいと思いますか。理由も入れて、グループで自分の考えを言きましょう。

例 A: I think cats are good pets because we don't have to walk them.
B: I see. But cats often sharpen their nails on furniture.
We have to train them.
A: You are right. Then, what's your idea?
B: I think rabbits are good because they are small and cute.



Word Box

ferret goldfish hamster parrot squirrel turtle

② 友だちの意見を聞いたあとで、自分がもっともペットにしたいと思った動物とその理由を書きましょう。

Goal 3

New Words should pet(s) shārpen nail(s) fūrniture férrer góldfish hāmster
 párrer squírrer túrtle

Interact ワークシート (サンプル)

1. Our School Trip
行きたい場所について

・何ができるか	We can
・どんなものがあるか	There is (are) It has
・どのような場所か	It is

2. A Good Pet

Word Box

sharpen move have scratch bark cure heal show raise

友だちの意見を聞いたあとで、自分がもっともペットにしたいと思った動物とその理由を書きましょう。

授業の振り返り

(1) 最もあてはまるものに○をつけましょう。

- 自分の意見を積極的に話して伝えようとする事ができた。 A B C D
- 自分の意見を適切な英語を使って相手に伝える事ができた。 A B C D

(2) 今回の授業で考えたことや、学んだことなどについて、日本語で自由に書きましょう。

※制作中のため仕様は変更になる可能性があります。

充実の補助教材もご用意!
ぜひ授業にお役立てください。

これなら生徒も
安心して
取り組めそうですね!



ここまでやって、
初めて本当の表現力が
身につくんですね!

Exactly!
新しいSUNSHINE,
ぜひ使ってみてください!



新出言語材料を使った
自然な場面設定でのやり取り

最後には「書く」活動を入れて
即興性に正確性をプラス